

### 5年生花山宿泊学習に向けて ～久しぶりの「林間学校」～

雨模様の多かった今週ですが、今日は朝から気持ちのよい天気になりました。雨天のため延期していた4年生の七北田川の中流探検も本日無事終了することができたようです。

さて来週から5年生の花山宿泊学習が始まります。

25年前に私が勤務していた当時もこの学習はありました。当時の様子を教育計画で調べてみると、平成4年は「花山林間学校」として4月21日～24日までの3泊4日で、しかも5年生6年生合同で行われていました。興味があったので、平成になってから5年生の宿泊学習の歴史を調べてみました。平成9年まで場所は全て花山、対象は5年生・6年生でした。期間については、平成元年から平成4年までが3泊4日。その後、平成5年から平成9年まで2泊3日で実施されてきました（たぶん公開研究会の指導案作成の時期と重なっていたはず）。その後、5年生と6年生は別々に実施されることとなります。期間は全て2泊3日です。活動場所について5年生だけを紹介すると、平成10年～11年が志津川、平成12年～14年が蔵王、平成15年～18年が田代島となり、平成19年に花山に戻っています。その後、平成21年と22年は福島磐梯に移っていますが、平成23年からはまた花山に戻り、今年の宿泊学習へと引き継がれてきています。

附属小の5年生の宿泊学習で一貫して大切にされてきたことは、自然とのふれあいと仲間との協力です。過去の記録をみても、豊かな自然を生かして活動が行われてきたことがわかります。今年のプログラムにも野外炊飯、ウォークラリー、キャンプファイヤー、沢登りと自然の中で仲間と協力しながら取り組む活動が計画されていました。

さて、もう一度25年前の林間学校のプログラムに戻りますが、今と大きく違っていることがあり驚かされました。当時の教育計画の「林間学校」の留意点からいくつか紹介します。

- ①5年生、6年生のたてわり集団グループを編成する。
- ②児童の自主的活動を重視するために3泊4日とする。
- ③児童と担当教官の創意工夫で「白わく活動」を行う。
- ④自主的に規律正しく生活できるように係分担、きまりも相談させておく。

この他にも、「御駒山登山」「花山を知ろう」「花山に感謝しよう」などのプログラムが計画されていました。3泊4日ということもあり、4月に全員健康診断を行ったり、十分な休養を取りながら4日間の活動を行ったりすることができるように配慮されていたことも当時の特徴の1つです。

月曜日からの花山宿泊学習。何より全員無事に帰ってくるのが目標です。豊かな花山の自然の中で、5年生の子どもたちがたくましくしかもしなやかに活動する姿を楽しみに総勢11名の引率で行ってきたいと思います。

(文責：副校長 手代木)